

# 教育センター通信

令和7年7月11日

No. 2

中野区立教育センター

所長 井元 章二

～ すべての子どものために、支援の中心として ～

## 「サンマ」を考えた過ごし方を

所長 井元 章二

子どもの生活から「サンマ」がなくなったと言われます。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、これは「三間」と書いて「時間」「空間」「仲間」のことを言います。

「三間」は、子どもの成長にとって必要な要素とされるものです。

子どもたちは、テレビや動画を見たり、ゲームをしたりするなど、室内で過ごす時間が増え外遊びの時間が減ってきています。

都市化や道路網の進展は、子どもたちの活動場所であった空き地や生活道路を奪ってきています。公園や学校開放等が整備されているとはいえ様々な制約があり、自由に伸び伸び遊べる場(空間)が少なくなっています。

また、少子化によりスポーツや外遊びをする子どもたちも減少しています。学習塾や習い事に通うことが多く、時間が合わずに遊ぶ仲間が作りにくい状況があります。

社会の変化から、今の子どもたちは異年齢の子どもたちで群れをつくり、ルールを考えたり助け合ったりして子どもたちだけで思い

きり遊ぶという体験がなくなっている状況にあります。何をするにも大人の許可を得て遊んだり、ルールを守らないと注意されたりと大人の監視下で生活することになってしまっています。

まもなく、学校は夏休みに入ります。

「サンマ」を考慮して、普段ではできない過ごし方を各家庭で取り組ませてみてはいかがでしょうか。子どもが主体的に活動し成功や失敗を経験することが成長の糧になると思います。



## ご利用ください「教育支援室」

教育支援室には、「フリーステップルーム (FSR)」と「なかのフレンドルーム (NFR)」が設置されています。

FSR は、学校に行きづらいお子さんや行けないという状況のお子さんが、自分のペースで学習したり、自分の興味や関心事に取り組んだり、安心して過ごせるような居場所になっています。NFR は、外国人のお子さんが学習に困った時に支援する場となっています。

### 【教育支援室】

〒164-0011 中野区中央 1-41-2  
中野区みらいステップなかの  
中野区教育センター3階 教育支援室  
電話 03-5937-3044

★東京メトロ丸の内線・都営大江戸線  
「中野坂上駅」A1 出口徒歩 2 分  
★京王バス「渋 64」・都営バス「王 78  
他」中野坂上バス停下車徒歩 2

○中部分室と南部分室があります。

# フリーステップルーム<sup>(FSR)</sup>をご紹介します!



教育支援室には、  
どのように通えばよいですか?



電車やバスなどの公共交通をご利用ください  
(定期券の発行も可能です)。原則、小学4年生  
までは保護者の方の送迎が必要です。  
FSRは教育センター内のほかに、  
「中部分室」と「南部分室」があります。



通うためには  
どのようにすれば?



① 右のQRコードから  
② お電話から  
③ 在籍校を通して  
いずれの3パターンにて、まずは、見学・  
体験をお申し込みください。



通っている方は  
どのように過ごしていますか?



さまざまなお子さんのニーズにこたえるため  
の場を工夫しています。学習したい子、カード  
ゲームをしたい人、イラストを描きたい人、  
ハンドメイドをしたい人、音楽や運動し  
たい人など、「個」の学びと「関わり合い」  
の学びを大切にしています。



行事・イベントや  
進路相談はしていますか?



時にはFSRから外に出て、ボウリングや博物  
館見学などの経験を通し、仲間と共に成功体  
験を積み重ね、自信につなげます。夏には、  
希望制で宿泊行事もあります。また、上級  
学校説明会や面接練習などの  
進路指導も行います。



年度途中でも入れますか? お金は?  
オンラインでの通室も可能?



いつでも見学や説明を受け付けています。通  
室にかかる費用は交通費以外かかりません。  
なお、オンライン(メタバース)を活用して通  
室することも可能です。まずはやりやすい形  
をいっしょに探ります。



学校をやめなくてもいいのですか?  
何名くらい通っていますか?



在籍校に在籍したままFSRに通えます。通室  
日数は在籍校の出席となります。現在、小2~  
中3まで50名弱が在籍しています。入室時に  
大まかな通級する曜日や時間を決めて、  
その中で通室することとしています。